

教育福祉常任委員会 視察研修

当委員会は、去る2月22日に群馬県みなかみ町、前田善成町長の表敬訪問、翌23日に同じく群馬県大泉町において実施されている子ども食堂、学習支援事業並びに学童保育学習サポート事業の取り組みについて研修してまいりました。また、3月22日には千葉県柏市アミューゼ柏クリスタルホールにおいて内閣府の主催により開催されました、子どもの貧困対策マッチングフォーラムに参加してまいりました。

2月22日に訪問させていただいたみなかみ町では、前田町長並びに林議長の手厚い歓迎を受け、利根川を有効活用したまちづくりにより、両町の連携をより深め、地域の発展に務めていくことについて懇談させていただきました。

翌23日の大泉町において研修させていただいた子ども食堂は、子供の居場所づくりを目的に、平成29年4月から町在住の子ども及びその保護者を対象として、ボランティア団体等の協力により、毎月第3土曜日に実施されており、参加費については、子ども無料、

大人3000円となっております。食材等については地元の企業やJA、生産者、フードバンクからの寄付により調達し運営されております。

学習支援事業では、「学習支援サロン」を平成28年7月から毎週金曜日午後6時から9時まで、生活保護世帯、ひとり親家庭の中学生を中心に実施されており、今年1月現在、72回実施し延べ891人に利用されております。学習支援の現場では、学生ボランティアが一人一人の子どもに寄り添いながら丁寧に勉強を教えることで、子どもたちが自分の居場所として安心して過ごすことができることとなりました。

学童保育学習サポート事業では、放課後に学童クラブを利用している子どもたちを対象に、町内の4学校区ごとの児童館において8つのクラブで実施しております。利用料は無料で各実施場所において週3回、25分から45分の指導時間を設けております。指導者は、小・中学校の補助指導教員7名と教員免許取得者3名で行われており、宿題や自主学習のサポートを行う中で分からない箇所を解決し、学ぶ楽しさを感じられるよう支援を行っているとのことでありました。

3月22日に開催された子どもの貧困対策マッチングフォーラムは、子どもの貧困をなくすため、企業や団体、市民、自治体が今出来ることを見つける場にすることを目的に開催されており、第1部では、柏市鬼沢副市長より柏市における問題点と現在の取り組み状況及び今後の対策について、国からは内閣府子どもの貧困対策担当の阪口企画調整官から、政府が実施する貧困対策の実績及び今後の展開についての説明がありました。

日本大学文理学部末富教授の講演では、貧困対策の先進国であるイギリスにおける充実した施策の内容を日本の現状と比較し説明していただきました。

第2部では、パネルディスカッションが行われ、行政を初め、民間企業や社会福祉法人等の各代表者から多面にわたる意見交換が行われました。

境町においても、町内全ての子どもが幸せに成長できるまちづくりのため、また、当町が更に魅力ある、選ばれる町となるため、当委員会では今後も調査研究を進めて参りたいと考えております。



子どもの貧困対策マッチングフォーラム



大泉町 学童保育学習サポート事業視察

◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明